

# OCHADAI GAZETTE

お茶の水女子大学学报 第248号 2016年4月4日

OCHADAI GAZETTE April, 2016



## 誇り高き未来へ

### CONTENTS

#### TOPICS

学長からのメッセージ…………… 1-2 新入生の皆様へ	キャンパス点描…………… 11-12 ● 文京区立お茶の水女子大学こども園が 開園しました ● 新しい学生会館 Student Commons が開館しました ● お茶の水女子大学賞 第3回湯浅年子賞及び 第1回黒田チカ賞授賞式を举行了
平成27年度卒業式 …………… 3-4 学長告辞	メディア報道記録/研究表彰等受賞者一覧/… 13-14 イベントカレンダー
学生のアクティビティ…………… 5-6	
教員紹介…………… 7 ● 高桑 晴子先生 (基幹研究院人文科学系准教授)	
卒業生紹介 …………… 8 ● 足利 由紀子さん (理学部生物学科卒)	
附属学校園からのお知らせ…………… 9-10	



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University

# 学長からのメッセージ

## 新生の皆様へ



お茶の水女子大学は、昨年11月29日に創立140周年を迎えました。記念式典には、各界からのご出席者を迎え、本学のこれまでの歩みへの高いご評価と、未来への温かいご期待をお寄せ頂きました。本学初の女性学長である本田和子(ますこ)先生からは、「困難な時代にあった女性達にとって、お茶の水女子大学が希望の星であった」との記念講演を頂き、穏やかな日々の中で思う存分学ぶことができる幸せや、信頼で結ばれた人々との生活を慈しむことができることへの感謝を心に刻みました。文部科学大臣のご祝辞にも「活力と革新性あふれる大学として、伝統を生かしつつその枠を超え、広く社会のための強み・特色を生かした教育研究にまい進して頂きたい」との

お言葉がありました。私たちは、諸先輩方がこれまでの140年間に築いて来られた女子教育の実績を基盤として、さらに学びと研鑽を深め、これからの140年に向かって誇り高く存在し続ける大学でありたいと考えています(詳細はOCHADAI GAZETTE 第247号やHPをご覧ください)。

世界は今、環境破壊、温暖化、資源の枯渇、人口問題、食料不足、財政破綻、貧困による教育格差・社会格差など、多種多様な課題に直面しています。これらの課題に対処するためには、人々が共に考え、手を携えて、グローバルな視点からの取り組みを進めて行かねばなりません。本学では、女性が社会で活躍することさえ難しかっ

新入生の皆様へ

ご入学おめでとうございます

お茶の水女子大学へようこそ



た時代から、世界に開いた教育・研究を進め、国際的に活躍する卒業生たちを送り出して来ました。国を超えた研究活動によってわが国最初の女性理学博士になった安井コノさん、フランスに渡って国際的な女性物理学者として活躍し、日仏の研究者交流の架け橋として活躍した湯浅年子さん、英国留学の経験を経てシヤム国の女子教育に尽力し、東京女子大学の2代目学長を務めた安井てつさんも、本学の卒業生であり、本学の教員としても活躍されました。現在も、数多くの卒業生たちが、国境、文化、世代の壁を越えて活躍しています。

また本学では、特色ある専門教育と共に、リベラルアーツ教育、グローバル教育、リーダーシップ

教育といった教育システムを構築し、時代の要請に柔軟に対応し、持てる能力を十分に発揮して活躍できるよう、皆さんの意欲的な学びを支援しています。

さらに、様々な国籍を持つ学生たちが、多様な文化と異なる価値観や考え方を深く理解し合えるよう、多くの国の大学との間で協定を結んで留学生を受け入れ、日本人学生達の留学を後押ししています。

本学を学びの場として選んで下さった皆さんには、『学ぶ意欲のある全ての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する』とのミッションの下、英智と勇気をもって地球規模の課題に向き合って下さることを願っています。

2016年4月

国立大学法人お茶の水女子大学長 室伏 きみ子

学長からのメッセージ  
新入生の皆様へ

# 平成 27 年度卒業式

## 学長告辞



488名の皆さま、ご卒業おめでとうございます。お茶の水女子大学の教職員を代表して、皆さまに心よりお祝いを申し上げます。

ご家族やご関係の皆様にも、謹んでご卒業をお祝い申し上げます。長い間、お嬢様方の本学での勉学をお支え頂きまして、有難うございました。

また、御来賓の皆さまには、お忙しい中、ご臨席を賜りまして、卒業生たちの門出を共にお祝い頂き、エールをお送り頂けますこと、まことに有難うございます。

本日、この徽音堂には、日本の国旗と共に、留学生の方々の国旗も掲げてあります。毎年、国境を越えて、本学で学問・研究の道を究めたいとの意欲を持って留学してきて下さった方々を、本学の卒業生としてお送り出来ますことも、私たち教職員にとって、大きな喜びです。帰国される方も、日本で大学院に進学される方や就職される方もいらっしゃると思いますが、それぞれの道を、胸を張って進んで頂きたいと思っています。

皆さまもご存知のように、本学は、昨年11月29日に創立140周年を迎えました。記念式典や記念行事には、内外の多くの皆さまにご列席頂き、共にお祝い頂くことが出来ました。記念式典では、2001年に本学初の女性学長となられた本田和子先生から、ご講演を頂きましたが、お茶の水女子大学への愛に溢れた本田先生のお話から、式典に出席していた人々は大きな感動を頂きました。本日は、皆さまに、そのご講演の一部を紹介させて頂き、本学が長い歴史の中で果たしてきた役割の一端に思いを馳せて頂きたいと思ひます。ひとつは、ノーベル平和賞を受賞されたワンガリ・マータイさんに名誉博士号をお受け頂いたときのこと、そして、本田先生が本学の学生でいらっしやった頃にご一緒された上級生の方のお話です。

皆さまは、ワンガリ・マータイさんをご存知ですね。ケニア・ナイロビ大学で初の女性教授となられた生物学者で、「開発」の名の下に進められる環境破壊と、開発の恩恵からはじき出される人々を目の当たりにして、環境保護活動を開始され、1977年に「グリーンベルト運動」を創設されました。この運動は、植樹という環境保護活動を通じて、当時、収入や自立の機会を持たなかったアフリカの農村地帯の女性たちに仕事を提供し、女性の地位向上、貧困撲滅、民主化促進などを展開するものでした。2011年に亡くなられるまでの34年間に、延べ10万人以上がこの運動に参加し、植えられた苗木は4500万本にも上ったそうです。この地道な活動によって、2004年にアフリカ人女性として初のノーベル賞（平和賞）を受賞されました。政治家としても活躍され、ケニアの環境・天然資源・野生動物省の副大臣やア



フリカ連合経済社会文化会議の初代議長も務められました。

2005年に毎日新聞社の招待で来日され、日本の「もったいない」という考え方に共鳴されて、世界中で「MOTTAINAIキャンペーン」を推進された方としても知られています。

来日されることを機に、本学から名誉博士号を差し上げたいと、毎日新聞社を通じてお願いしました。数多くの大学からオファーがあったそうですが、マータイさんはその中から最初に本学を選んで下さいました。授与式に際してマータイさんは、「お茶の水女子大学は、日本が近代国家になるときに政府によって創設され、国が国民の税金で運営してきた古い大学だと聞いています。日本という国は、政府も国民も、女性の教育を大切にしているようです。女子教育のために頑張っているお茶の水女子大学は、これから女子教育を始めようとしている私たちのような国々にとって“希望の星”です」と仰って下さいました。当時、私は、副学長として本田学長のお手伝いをして居りましたが、マータイさんとじかにお話し、女性たちの自律を願う温かいまなざしと強い意志に触れて、世界にはまだまだ過酷な境遇に置かれている女性たちが多く、そしてその女性たちの自立と環境保護のために、生涯を掛けて取り組んでいらっしやるマータイさんの姿勢に大きな感銘を受けました。同時に、本学の女子教育の歩みが高く評価されていることの嬉しさを、噛み締めました。

また、マータイさんが仰って下さった“希望の星”という言葉から思ひ出されたこととして、本田先生の本学在学中の上級生の方のお話もして下さいました。当時の女性たちの多くは、若い男性たちが軍人として戦場に赴いてしまうため、高等女学校を卒業するとすぐに17～18歳で結婚することが多かったようです。その上級生の方も、高等女学校を卒業してすぐに結婚されたそうですが、その後僅か3ヶ月でお相手が召集され、特攻隊員として南の海で戦死されました。17歳という若さで戦争未亡人となったわけです。暫く、絶望の淵に沈み、悲しみの中にいらしたその方は、その当時から本学が先進的な女性たちを輩出していたことを知り、本学の前身である東京女子高等師範学校に入学することを決意されて、一人の人間として自立する道を選ばれたそうです。本学で学ぶことに“希望の光”を見出されたとのことでした。

本学が、その方が悲しみから立ち直るきっかけともなり、その後の有意義な人生を創るための学びの場となったことは、140年の歴史の末端に身を置いている私たちにとっても、本当に嬉しいことです。

創設当時から、本学には、教養と専門性を備えた女性リーダーの育成が期待されて来ました。そして、本学の卒業生たちの多くは、優れた教員として日本の女子教育を担い、知性ある女性たちを育てて来



ました。国の女子教育の推進のために学校設立に努力した卒業生も数多く、関東大震災の翌年1924年に本学の同窓会である桜蔭会が開設した「桜蔭学園」は、その中でも良く知られた例です。

また、本学の卒業生は、女性が学術研究に従事することなど考えられなかった時代から、国境を越えた活躍をして来ました。国の内外において研鑽を深め、日本で初の女性理学博士となった保井コノさんや、初の女性帝国大学生となった黒田チカさん、また、第2次世界大戦前後の極めて困難な時期に、フランスに渡って原子物理学者として活躍し、日仏研究者の架け橋ともなった湯浅年子さん、女性を受け入れなかった帝国大学で無給の副手として研究を続け、初の女性農学博士となった辻村みちよさんなどを先駆けとして、現在までに数多くの科学者・研究者が育ち、国の内外で活発に活動しています。

わが国初の女医として知られている荻野吟子さんや、英国留学の経験を経て、当時のシヤム国の女子教育に尽力し、その後東京女子大学の2代目学長を務めた安井てつさんも、本学の卒業生です。

現在も、様々な領域で活躍している女性たちの多くが、本学の出身者であることに驚かされます。先輩たちの活躍は、後に続く皆さまにとって、力強い後押しとなってくれることでしょう。

本学には、これまでも、またこれからも、様々な役割が期待されて居ますが、創立以来のお茶の水の精神である「女性たちの未来に希望の灯火を掲げ続ける」ことが、本学の大きな使命であることを、忘れてはならないと思います。

現在、私達を取り巻く社会環境は大きく変動しており、様々な国で争いが起こり、世界中で自然災害が頻発して、人々の穏やかな生活が失われる事態が起こっています。

今日11日に、東日本大震災5周年を迎えましたが、この大震災がもたらした悲惨な事態は、多くの人々に、人知が及ばない自然の力の大きさを知らしめると共に、人々が心を寄せ合い、助け合うことの素晴らしさも強く認識させるものでした。

今日卒業される皆さまをはじめ、少なからぬ学生の方々が、それぞれの想いを持って、救援活動や復興支援活動にボランティアとして参加して来られたことは、とても素晴らしいことです。この5年間、春・夏・秋・冬の学校の休みを利用して、被災孤児や遺児の支援活動に私たちと一緒に下さった方々もいらっしゃいましたね。また、継続した被災地訪問を通じて、被災者を支える活動を続けた方々、被災地の子ども達の学修支援に奔走した方々など、多くの学生さんたちや教職員の方々が、頑張っておられたこと、今も頑張っておられることを知るたびに、心からの感動を覚えます。そうした皆様は、大きな社会的な不幸の中で、自分に何ができるかを真剣に考え、また、行動することを通じて、日々重ねてきた学問への研鑽と共に、社会における自らの在り方についても自己研鑽を重ね、大きな成長を遂げて来られたと思います。今日、そのような経験を経て卒業の日を迎えている皆さまの姿は、頼もしく、また、輝いています。

多くの人々が悲しみや不幸に見舞われている状況がある中で、皆さまには、日々の暮らしが穏やかに続くこと、普通の生活を送れること、

人々が信頼し合い手を取り合って暮らせることの大切さを、心に刻んで頂きたいと願います。

そして、お茶の水女子大学で学び、経験した様々なことを活かして、弱い立場にある人々への思いやりを忘れず、日本と世界の人々の幸せのために、自分たちに何ができるかを問い続けながら、それぞれの道を誇り高く歩んで頂きたいと願っています。

皆さまの卒業後の進路はさまざまでしょう。引き続き大学に残って大学院へ進学する方も、また社会の現場に出ていく方もいらっしゃいますね。今日、お茶の水女子大学を巣立って、様々な場へと羽ばたいて行かれるわけですが、どんな道を選ばれるにしても、皆さまには、「失敗しても諦めない」ということを、心に留めて頂きたいと思います。長い人生では、思いがけないことが起こります。困難な場面に遭遇したり、壁に突き当たったりして、物事が思うように進まないことが少なからずあると思います。でも、チャレンジして失敗することは、恥ずかしいことではありません。失敗は、皆さんを強くし、成長させ、将来を拓く力ともなります。是非、諦めることなく飛び続けて下さい。

人生の谷に差し掛かった時に、諦めたり逃げてしまいたくなったりすることもあるでしょう。ですが、諦めてしまったり、逃げてしまったりしたら、それまでの努力も無駄になってしまいます。暫くの間、低空飛行を続けることもあると思いますが、低空飛行でも構わずに、飛び続けて頂きたいと思います。飛び続けていれば、必ずまた高く飛ぶときが来るはずですよ。諦めて飛ぶことをやめしまうと、また飛び立つためには、とても大きなエネルギーが必要です。また、困難に出会って悩み、それを乗り越えた経験は、周囲の人々への思いやりや共感にも繋がりますし、そこから自分自身への誇りも生まれます。

ただ、困ったときには一人で悩んだり苦しんだりせず、是非、周りの人たちに助けを求めて下さい。皆さんが周囲の人たちを思いやるのと同様に、皆さんを思いやり、助けて下さる方がいらっしゃいます。

そして、いつでも、皆さんの母校であるお茶の水女子大学に、羽を休めに帰っていらして下さい。悩みを抱えている時だけでなく、嬉しい時、悲しい時、学びなおしたい時、---、どんな時にも、そしていつでも、お茶の水女子大学は皆さまを喜んでお迎えます。

では、お元気で、新たな道に踏み出してください。私たちが、皆さまを誇りに思うと同様に、皆さまにも、本学の卒業生であることに誇りを持って、理想高く歩んで頂きたいと願っています。

これからの皆さまの輝かしい未来をお祈りして、お祝いの言葉を結びます。

ご卒業、まことにおめでとございます。

2016年3月23日  
国立大学法人  
お茶の水女子大学長  
室伏 きみ子



平成27年度卒業式  
学長告辞

# 学生のアクティビティ

授業が終わったら、サークルで仲間とともに  
いつも楽しく、時に真剣に、好きなことを追いかけて

学生生活の楽しみの一つがサークル活動です。

専攻や学年を越えて、同じことに興味を抱く人たちが集まるサークルは、たくさんの仲間に出会える格好のステージ。  
スポーツ系から文芸、ダンス、音楽、レクリエーションまで、現在、文科系 30、体育系 17 の公認団体が活動しています。



1 弓道部



2 陸上競技部



3 空手部



4 華道部



5 バスケットボール部



6 フィギュアスケート部



7 硬式庭球部



8 オレンジマニア



9 TECKTECK



10 ピアノ班



11 Ochas



12 E・S・S



13 氷川下子ども会



14 バドミントン部



15 裏千家茶道部



16 表千家茶道部



17 ジャズダンスサークル・flow



18 美術部



19 写真部



20 能楽研究会



21 剣道部



22 バレーボール部



23 日本舞踊研究班



24 ギター部

①弓道部：練習は週 2 回、大学内弓道場で。春夏合宿、試合もあります。 ②陸上競技部：走りの好きな仲間同士、縦横無尽に街や校庭を駆け回っています。 ③空手部：週 2 回、体育館で型と組手を練習しています。護身術も学べます！ ④華道部：小原流華道を教えていただいています。 ⑤バスケットボール部：夏の大会での上位リーグ昇格を目指して日々練習に励んでいます。 ⑥フィギュアスケート部：「スケートが好き！楽しい！」そんな思いで日々練習に励んでいます^^ ⑦硬式庭球部：時には楽しく時には本気で、みんなテニスに打ち込んでいます！ ⑧オレンジマニア：色々な音楽をバンドで演奏するお茶大唯一の軽音サークルです！ ⑨TECK TECK：山登りやレク等、週末に愉快的仲間たちと楽しくテックテックしています！ ⑩ピアノ班：ピアノの演奏を一緒にしたり聴きあったりします。他楽器との協奏もOK♪ ⑪Ochas：「食べる幸せを広げる」を目標に食育授業やレシピ開発などを行っています ⑫E・S・S：気軽に楽しく英語でディスカッション・スピーチ・ガイドをします！ ⑬氷川下子ども会：子供の苦手だった私にも、沢山の小さな友達ができました。 ⑭バドミントン部：リーグ昇格目指して日々練習にはげんでいます！ ⑮裏千家茶道部：初心者経験者問わず、茶室「芳香庵」で楽しく活動しています！ ⑯表千家茶道部：お茶を楽しむことを一番に、四季折々の稽古に励んでいます。 ⑰ジャズダンスサークル・flow：たくさんの仲間と一緒に、楽しく踊っています！

⑱美術部：絵画班は自由製作、陶芸班は先生の指導で製作しています。 ⑲写真部：撮影会・撮影旅行の企画や、学校祭などで作品の展示しています。 ⑳能楽研究会：謡と舞・小鼓・笛から好きなものを習えます。レツツり足！ ㉑剣道部：月・金の週2で活動しています。初心者歓迎。みんな仲良しで和気あいあいとしています。 ㉒バレーボール部：練習はきちんと、普段は学年を越えて仲が良いメリハリある部活です。 ㉓日本舞踊研究班：週1回のお稽古で、みんな楽しく踊ってます！初心者大歓迎！ ㉔ギター部：クラシックギターを楽しく演奏しています。独奏の他、重奏・合奏もします。 ㉕経済研究会：勉強会・講演会を行い、現実の経済の動きを学んでいます。 ㉖山岳愛好会雷鳥：大学の垣根を越えて皆で山の魅力を堪能しています。 ㉗緑会合唱団：オケ付き演奏やボイトレなど、楽しく活動しているインカレ混声合唱団です。 ㉘青い花：部誌発行（年4回）にむけ創作活動をしなす。微音祭や文芸フリマにも参加！ ㉙SF研究会：SFとありますが、普通の文芸部です。部誌の発行や昼食会が主な活動です。 ㉚お茶の水管弦楽団：オーケストラです。年に2回の演奏会では1000人超のお客様の前で演奏できます！ ㉛考古学研究会：考古学に限らず、歴史について楽しくお話しています。 ㉜児童文化研究会しいのみ：子どもと遊んだり読み聞かせをするサークルです！ ㉝合気道部：週に3回、OGも現役も一緒に楽しく稽古をしています！ ㉞狂言研究会：室町時代のコメディ、狂言をプロに教わりつつ鑑賞実践しています。 ㉟サイクリング部：自転車に乗って国内外、アウトドアな旅を満喫します。 ㊱箏曲部：週1回、プロの演奏家の先生のご指導のもと、楽しく練習しています。



25 経済研究会



26 山岳愛好会雷鳥



27 緑会合唱団



28 青い花



29 SF研究会



30 お茶の水管弦楽団



31 考古学研究会



32 児童文化研究会しいのみ



33 合気道部



34 狂言研究会



35 サイクリング部



36 箏曲部



37 白ばら会合唱団



38 百人一首同好会



39 民族舞踊研究会



40 LBJスキートーム



41 劇工舎プリズム



42 囲碁部



43 英語ディベート部



44 ミュージカルカンパニー MMG

㉞白ばら会合唱団：昨年70周年を迎えた伝統ある混声合唱団です。週2回楽しく練習しています！ ㉟百人一首同好会：東大とのインカレで競技かるたの練習をしています。初心者大歓迎！ ㊱民族舞踊研究会：東大とのインカレです！世界の踊りを楽しく踊っています！ ㊱LBJスキートーム：初心者からベテランまで幅広いレベルの人が在籍してスキーを楽しんでいます！ ㊱劇工舎プリズム：役者もスタッフも仲良くかつ真剣に最高の演劇づくりに取り組みます！ ㊱囲碁部：毎週指導を受けながら、日々最善の一手を模索しています。 ㊱英語ディベート部：活動は週2回、試合や研究・大会を通して楽しくディベートしてます！ ㊱ミュージカルカンパニーMMG：主に宝塚の作品を上演する、女子大生のミュージカルサークルです。

< その他の公認団体 >

・漫画研究会 ・国際インターシップサポートサークル ・モダンダンス部

## 学生のアクティビティ

# 教員紹介

今回は、基幹研究院人文科学系准教授 高桑晴子先生をご紹介します。  
高桑先生は大学院では比較社会文化学専攻英語圏・仏語圏言語文化学コース、  
学部では文教育学部言語文化学科英語圏言語文化コースにご所属です。



## 文学を通じた 19世紀アイルランド女性作家との対話 「文学は言葉の力に触れる自分探し」

Takakuwa Haruko  
高桑 晴子

### Q まず始めにご出身、ご経歴などについて教えてください。

東京都出身、東京育ちです。東京大学文学部から大学院の博士前期課程、後期課程に進学しました。大学院生時代に、アイルランド文学を研究対象にしていたこともあり、アイルランドのトリニティカレッジダブリンに1年間留学し、Master of Philosophyを取得しました。帰国後、東京大学で助手（現在の助教）を勤めたのち、専修大学商学部で教養の英語を7年間教え、昨年本学に着任しました。

### Q 先生のご専門は何ですか？

英文学、特に19世紀初頭の英国女性作家の作品を研究対象にしています。イギリス作家のジェーン・オースティンやアイルランド作家のマライア・エッジワースの作品を中心に、時代的背景から考察しています。18世紀から19世紀にかけては、スコットランドがイングランド及びウェールズと連合王国を形成し、そこにアイルランドが併合され、海外では植民地経営が拡大した時代でした。ヨーロッパ文化史でいえば、18世紀末から19世紀末はロマン主義時代でもあり、各国・各地域のナショナリズムが形成されていきます。また、この時代は18世紀の啓蒙主義を経て女性の教育や権利についての関心も高まった時代でもあります。彼女たちの作品には、女性を対象とする家庭小説として扱われますが、そのドメスティックな関心の中にはこのような時代背景に基づくナショナリズムの問題が見え隠れします。私が分析対象にしているマライア・エッジワースは、いわゆる土着のアイルランド人ではなく、

アングロ＝アイリッシュ（イングランド系移民の子孫）ということもあって、この時代の歴史や社会的文脈の影響が色濃く出ているところが特徴ともいえます。

今後は、この時代のイギリス、アイルランド文学を対象に、単に連合王国内のナショナリズムの問題だけでなく、大英帝国の海外領土拡大というより広いアトラスの中でナショナル・アイデンティティと女性の位置づけの問題に分析を加えていきたいと思っています。また、キャンオン（文学史上重要とされる有名なテキスト）を対象にして、学生と一緒に、文学の翻訳（adaptation）の問題も考えていきたいと思っています。英文コースの学生でも、大学に入るまで英語の原著を読んだことがない人もいたので、学生と一緒に原著を読み進めるといった作業もしています。

### Q 研究の内容と、なぜそのような研究をするようになったのか、教えてください。また先生の研究対象であるイギリス文学の中で、お薦めの作品はありますか？

純粹に子供の頃から本を読むのが大好きでした。6歳の頃に、イギリスに8カ月住んでいたことがあったのが、この地域の文学に興味をもったルーツかもしれません。読むものも、日本文学も読みましたが、どちらかというところヨーロッパ、特にイギリスの文学に関心がありました。ジェーン・オースティンの作品は、英文学の世界の中でもとても有名です。また風俗喜劇（comedy of manners）と呼ばれる作品で、ラブ・コメディの要素もあって、おかしみのある作風をもった作品です。

中でも読みやすくお薦めの作品は、ジェー

ン・オースティンの『高慢（自負）と偏見（原題：Pride and Prejudice）』です。日本語訳もたくさん出ていて、コメディタッチの作品です。今年授業で扱いましたが、お茶大の1年生にも大変好評でした。マライア・エッジワースの作品では、日本語訳されているものに『ラックレント城』という作品がありますが、楽しむためには少し時代背景などの予備知識があるかと思っています。

### Q 本学着任前も含めて、お茶大にはどんなイメージを持っていますか？

以前に非常勤講師として英語の授業を担当していたことがありますが、その頃からお茶大での授業は大変楽しいものでした。少人数でアットホームな雰囲気、非常に面倒見のいい大学といった印象です。前任校がマンモス校だったこともあり、学生一人一人の顔の見える大学といった印象があります。また先生方の意識が、学生のほうにしっかり向いている雰囲気もとても新鮮です。

### Q お茶大生へ向けてのメッセージをお願いします。

大学時代は、いろいろな事にチャレンジすることを薦めます。また最近の傾向がもしもありませんが、あらかじめいろいろなプランを立てて、計画的に過ごす人が多いように思います。それももちろん素敵なことですが、学生というこの時期は、人生の中でも型破りな行動が許される期間です。真面目になりすぎずに、予定していた計画を実行するだけでなく、ちょっと型破りなチャレンジをして、少しは肩の力を抜いてモラトリアムを楽しむといった意識をもってもよいのではないかと思います。

文責：基幹研究院人文科学系准教授 水村 真由美

# 卒業生紹介

## 海と人の心を結ぶ ～環境保全のスペシャリスト～

Ashikaga Yukiko  
足利 由紀子

### カプトガニとの出会い

大分県中津市沿岸には、総延長約 10km、沖合 3km、面積 1345ha という瀬戸内海最大規模の干潟がある。そこに「水辺に遊ぶ会」が発足して、16年。足利由紀子さんは、理事長として、中津の干潟の状況とそこに生息する生物を詳細に調査し、把握した情報に基づき環境を保護するための様々な啓発活動を展開、海域環境と生態系の保全の重要性を説いてきた。活動を始めた時は、埋め立ての危機にあった無名の干潟であったが、保全活動がCOP10の「世界湿地賞」(世界湿地ネットワーク)をはじめ、「ユネスコ日本未来遺産」(日本ユネスコ協会連盟)、沼田眞賞(日本自然協会)、「手作り郷土賞」(国土交通大臣)などの賞を多数受賞し、今や日本を代表する「中津干潟」として、世界にも知られるようになった。

もともと自然保護や環境保全に興味があり、生物学に入学した。学生時代は、日本野鳥の会本部及び東京支部で観察会や野外体験のボランティアやネイチャーキャンプのサブリーダーを行いながら、生物調査や環境保全の手法を学んだ。卒業研究では、千葉県館山市の海をフィールドとした無脊椎動物の形態分類の研究を行い、卒業後は、自然や生き物を紹介する映像の制作に関わりたいと考え、日本初の動物映画「キタキツネ物語」を制作した株式会社サンリオに入社した。児童書の出版、広告デザイン業を経て、結婚を機に1991年に大分県中津市に転居。フリーデザイナーとしての仕事と子育てを行いながら趣味の野鳥観察を続けていた。

1999年に中津港の拡張工事に伴い、隣接する海岸を白浜ビーチにする計画が生じ、地元民の話合いが始まった。「生き物好きでしょ」と足利さんにも声がかかる。「どんどころか見に行こう。」ぬかるみに足をとられながら歩くと、干潟の表面にトゲトゲしたものがある。手に取ってみたら、カプトガニの幼生だった。「教科書でしか見た事がない貴重な生きものが手のひらの中で必死に脚をうごかしていたの。埋め立てていけないじゃない。」まずは、干潟のことを皆で勉強し、観察会を実施して地域の人に知ってもらおうと、職種も年齢もバラバラの6人で「水辺に遊ぶ会」を発足。一番若くて時間も自由な足利さんが代表に指名された。



### 市民による調査と保全活動を展開

環境保護団体は強硬な反対を行うものが多い。しかし、それでは立ち行かなくなることは学生時代のボランティアの経験で分かっていた。「私が代表になるのなら闘争型の保全活動はしない。徹底的に話し合う方法で行う。」足利さんは、干潟の覆砂

### NPO法人「水辺に遊ぶ会」理事長

1987年お茶の水女子大学理学部生物学科卒業。日本文理大客員教授・環境省環境カウンセラー・環境省希少野生動物種保存推進委員・環境省自然公園指導員・大分県環境教育アドバイザー・大分県希少野生動物保護推進員ほか。長野市出身。

事業にのみ反対し、今後の海岸と人とのあり方を考える協議会の設置を県に要請した。そして、行政、市民、専門家、自然保護団体などの幅広いメンバーが公開で行う協議会で、その調整役を担った。自己主張するのみでなく、他の価値観も許容し、自ら調査を行い、企画書を作成する。とことん議論を重ねた末に、干潟を保つ合意形成に至った。

足利さんは、「地域の自然環境を保全する上で重要なのは、地域住民の理解を得るための啓発と現地調査に基づく自然環境の的確な状況把握です。地域住民と社会の意識の醸成が鍵となります。」と説く。「水辺に遊ぶ会」では、市民の手で生息する生物種を調べ(底生調査)、地形や干潟の土壌を調べる(測量や底質調査)という新しいスタイルで、専門性の高い調査研究を継続して実施した。そして、アオギス、カプトガニの他にも多くの希少種を含む、多種多様な生物が、陸と海を繋ぐ干潟の緩い勾配の中で棲み分けて生息していることを知る。調査結果は、中津干潟レポートや学術雑誌に報告する他、

「水辺に遊ぶ会」のホームページで発信している。一方、沿岸の環境保全を行うには、利害関係のある漁業者の理解と協力が必要となる。漁業者にヒアリングを行って、後継者不足や資源の枯渇などの問題を知った。漁業者の問題解決のために専門家を紹介し、自らが漁や販売の手伝いを行った。市民には、地元の魚を使ってもらえるように料理教室を開催し、漁業者との協働によるイダコ漁や海苔すき体験を実施した。子供達の笑顔は大きな力となって、市民の中津干潟に対する認識が飛躍的に高まった。「海を良くするためには、川も山も良くしないといけない。」保全活動の場を中津干潟と中津干潟を形成する山国川水系の水辺環境へと広げ、昨年末までに実施した啓発活動は、主催自然観察会や行事が149回、教育現場での環境学習が397回にもものぼる。「水辺環境を守るためには、まず、身近な水辺環境を知り、好きになることが大事。時代が豊かになるにつれ、人々の足が遠のいてしまった。海と人の心の距離を取り戻したい。100年後の子ども達にも残すために。」

### ネイチャーセンターの開設と後継者の育成をめざして

子どもの頃、自然が好きなお父に手を引かれ、近くの川や公園や雑木林に行った。花や虫、鳥を見て遊び、身近な生命や自然の魅力にとりつかれた。それが自然保護をライフワークとしたいと思うようになった原点だという。「大学生の間は、自然保護団体でとてもかわいがってもらった。自分がもらったものは、だれかに返したい。」しかし、日本の環境団体は高齢化が進んでおり、自然科学系に興味があつて調査研究をするスキルを持った20～30代の若者が育っていないと嘆く。「特殊な環境に行かなくても、身近な場所でも自然は充分に楽しめるし、学ぶことができる。経験値をあげないと、興味を持つ若者は出てこない。さらに、良い指導者との出会いが大事。」うれしいことに、「水辺に遊ぶ会」で育った子が大学生になって研究をしに干潟に戻ってきた。親になって子どもをつれてくる人も増えてきている。

8年前には、韓国のNGOが中津干潟に視察に訪れていたが、今は足下にも及ばない状況だという。韓国はいち早く東アジアの海洋保護のリーダーになると宣言し、各地に拠点となるセンターを配置、若いスタッフを海外に派遣して専門知識を学ばせている。若者が生き生きと働き、各地の拠点で保全活動と生業の共存、地産地消やツーリズムが成功している。驚いた。「自然保護はボランティアがやるものという国の考えでは、次世代を育てることもできない。」

後継者の育成が急務であるが、そのためには、助成金に頼らず自分たちで持続可能な活動ができるようにならなくてはならない。「子ども達がいつでも寄って環境学習ができるネイチャーセンターを作り、そこで若い人材を育てたい。」強い思いを胸に、次の目標に向かって動き出している。

文責：基幹研究院自然科学系准教授 近藤 るみ

### わたしのオフタイム

フィギュアスケートの観戦へ!  
お茶大ではフィギュアスケート部  
に入っていました。

# 附属学校園からのお知らせ

## 附属中学校便り



附属中学校では、昨年度から文部科学省の研究開発学校の指定（平成26年度～29年度）を受けて、新教科コミュニケーション・デザイン科（以下CD科）の開発研究に取り組んでいます。この研究は、生徒が協働的な課題解決の場面で、図解化など様々なツールを活用して自分の考えをまとめて話し合ったり、統合メディア表現によって効果的に伝達・発信したりするための考え方や表現方法を学ぶためのものです。CD科の授業を通して、次世代に向けた教育がより効果的に進めていくことができるようになりますと期待しています。

今号の附属中学校便りでは、2年生が取り組んだCD科の「難プロ」について、プロジェクトリーダー長の吉原さんからの報告をご紹介します。



活動報告会

を歌い、この歌を多くの人に知ってもらうことを通してALSやALS以外の難病と闘う人々について関心を持ってもらい、治療法や治療薬の早期開発を促していくことをねらいとして活動してきました。

学年で10人をプロジェクトリーダーとして活動を開始しました。最初にどのメディアに発信するのかという視点で4つのグループに分けてからその中でチームに分かれて活動をしていきました。

1つ目のグループは公共広告グループ。難プロのホームページやTシャツの作成。また、チラシ、ポスターの作成をして駅などの公共施設に貼らせていただき、たくさんの人への発信を行えました。（「難プロ公式HP」<http://sogabe2.wix.com/nanpro2015>）

2つ目はチャリティーパフォーマンスグループ。ダンスやコント、ラップなどを天祖神社で行われたいちょう祭りや上野公園でパフォーマンスを行いALSなどの難病に関心を持ってもらうと同時に寄付金を4万463円集め、ENDALSチームに寄付することができました。

3つ目は音楽グループ。「まぶたのさけび」を広めるための編曲や演奏をしました。そして合唱用の編曲は今年の3月に行われた中学校の合唱コンクールで中学2年生の中から有志合唱で歌いました。

## 2年生CD科 「難プロ」の取り組み紹介

私たちは「難病と闘う人々を支援するプロジェクト」略して難プロという活動を昨年の10月から今年の1月までの約3か月間行ってきました。

附属中学校の卒業生でALS（筋萎縮性側索硬化症）という病氣と闘っている藤田正裕さんを支えるENDALSチームから「まぶたのさけび」という歌を歌って

ほしいという依頼から始まったプロジェクトです。

最初はALSと闘う人々を支援するプロジェクトになるのを計画していたのですが学年の中で話を聞いてみると「苦しんでいる人がいるのはALSだけではない」という意見が出たのでALSをはじめとした難病と闘う人々を支援するプロジェクトとなりました。

ALSと闘う藤田さんを励ますこと、ALSについて多くの人に知ってもらうだけでなく、私たちが「まぶたのさけび」



いちょう祭りでのパフォーマンス



上野公園での募金活動





東京メトロ駅構内の啓発ポスター



大学図書館に紹介コーナー設置

活動報告会

4つ目はSNSグループ。SNSを使った広報活動を目的として、FacebookやTwitterなどの公式アカウントをつくり、LINEのスタンプの作成を通し、難プロの活動やALSなどの難病についての発信をしました。

今年の1月には活動の総括として中学1年生も招いて活動報告会を行いました。どのグループも活動していく中で思いどおりにならなかったところや逆にうまくいったところなどを報告していき充実した報告会となりました。

約3か月間私は難プロのプロジェクトリーダー長として活動してきましたが決して成功ばかりではありませんでした。生徒の意見が合わなかったり、情報を発信していく時には文章の細かいところまで気を使わないといけなかったり大変なことが多かったです。しかし、自分たちの活動の及ぼした影響はとても小さなものでした。たくさんの情報が流れている現代、自分の流したい情報を広い範囲に短時間で発信する難しさを感じました。しかし同時にこの先高校生、大学生、社会人と成長していく中で今回の活動の経験はきっと生かせると思います。今回の難プロの活動を通して私たちがALSをはじめとした難病に関心を持ち、そして貴重な経験ができたことをとても嬉しく思います。

お茶の水女子大学附属中学校2年 吉原 賀子



上野公園でのパフォーマンス

## 附属学校園での出来事 (2016年1月~3月)

### 【いずみナーサリー】

#### 1月

- 避難訓練 (地震・室内待機)

#### 2月

- 節分遊び
- 保護者会
- 避難訓練 (抜き打ち・地震・室内待機)

### 【附属幼稚園】

#### 1月

- 始業式
- 春を祝う会
- クラス懇談会
- 親子体操の会
- お汁粉会
- 避難訓練
- 遠足 上野動物園 (5歳)
- 親子で遊ぶ日 (3歳)

#### 2月

- 豆まき
- 保護者対象象内講師講演会
- 親子で遊ぶ日 (5歳)
- 誕生会

#### 3月

- ひなまつり
- お楽しみ会 (5歳)
- PTA総会・全体保護者会
- 卒業式

### 【附属小学校】

#### 1月

- 始業式
- 成人のつどい
- 留学生との交流会 (5年)

#### 2月

- 委員会 (4年生見学)
- ジャガイモ植え・郊外学習 (5年)

#### 3月

- 授業参観・保護者会総会・かがみ会総会
- 茗鏡会スプリングコンサート
- 卒業おめでとうの会
- 雪の学校 (6年)
- 校外学習 (1年、2年、3年、4年、5年)
- バイク給食 (6年)
- 卒業式

#### 3月

- 親子であそぼう会
- 避難訓練 (お散歩先・地震)

### 【附属中学校】

#### 1月

- 授業開始
- 特別時間割時間

#### 2月

- 自主研究発表会 (2年)
- 期末テスト (全学年)
- 保護者会 (3年)

#### 3月

- 期末テスト (1・2年)
- 避難訓練 (1・2年)
- 校外園 (ジャガイモ種付け:2年)
- 音楽行事・歓送会
- 卒業式
- 終業式、離任式
- 保護者会 (1・2年)

### 【附属高校】

#### 1月

- 始業式
- 大学入試センター試験 (3年)
- 合唱コンクール
- 3年生2者面談
- 保護者会 (1・2年)

#### 2月

- 学力テスト (1・2年)
- 入学検定・合格発表

#### 3月

- 期末考査
- 新入生説明会
- 農場実習 (ジャガイモの植付け:1年)
- 情報科 特別授業  
Google オフィスツアー (1年)
- 答案返却・もちつき
- 作楽会 (同窓会) 館訪問 (2年)
- 特別講義「図書館を活用した探究の方法」 (1年)
- 卒業式予行・歓送会
- 卒業式
- SGH成果発表会
- 終業式
- 作楽会ホームカミングデー

## 附属学校園からのお知らせ



## 新しい学生会館 Student Commons が開館しました

本学の学生会館は昭和35年(1960年)に厚生補導施設(延べ面積884㎡)として開館し、課外活動・各種サークル活動の拠点となる部屋を有する施設として多くの学生に利用されてきましたが、この度建物の老朽化に伴い学生のニーズを踏まえ安全・安心な課外活動空間を確保することを目的として新しい学生会館 Student Commons を建設いたしました。平成27年6月から旧学生会館の取り壊しを行い、並行して新しい Student Commons の建設に着手し平成28年2月に竣工、3月から学生が利用を開始しています。

Student Commons は2階建てで延べ面積928㎡、1階にはラウンジ、事務室、作業室(印刷)、給湯室、自販機コーナー、アトリエ1~3(小会議室)、和室、德音祭実行委員会室を配置しました。2階にはダンスやミニ講演会ができるマルチパーパス1(大集会室)とマルチパーパス2(中集会室)を備え、この他に音楽が楽しめるスタジオ1~2(防音室)を配置しています。南側は

全面ガラス張りで開放感に溢れた空間となっています。この装い新たな空間が、今までにない活動スタイルや発想を生むきっかけになればと思います。



テープカットの様子



外観

全学生・教職員の皆さん、サークル活動だけでなく自主ゼミの拠点やゆっくり談笑できる交流の場としても、ぜひ Student Commons を活用ください。



マルチパーパス1(大集会室)

また、黒田賞は五十嵐悠紀氏(明治大学専任講師)の「コンピュータを用いたインタラクティブ3次元形状モデリングに関する研究」及び栢沼愛氏(筑波大学助教)の「量子計算化学による金属錯体の光異性化反応機構の解明に関する研究」に対してそれぞれ贈られました。

式典では湯浅年子ラボラトリー幅所長ご臨席、学内教職員列席のもと、室伏学長から賞状を湯浅賞の副賞を幅所長、黒田賞の副賞を鷹野教授(黒田賞選考委員)からそれぞれ授与されました。

また、学長、幅所長からお祝いの言葉がかけられ、受賞者の記念講演が行われました。



# メディア報道記録

## メディア報道記録 2015年度(抜粋)

※所属、職名は掲載当時のものです。

### 新聞

- 2015年4月1日 朝日新聞  
理研理事、5人中4人が退任  
羽入佐和子名誉教授(前学長)
- 2015年4月2日 日本経済新聞  
女性リーダー大学が成長の場 関学大・お茶の水女子大が講座  
鷹野景子教授、徹音塾
- 2015年4月4日 朝日新聞  
AO・推薦入試、国立も本腰 本場に調査団/生徒をスカウトも多様な学生獲得  
お茶の水女子大学
- 2015年4月11日 朝日新聞  
女性研究者つなく愛知の輪 3大学、発表会  
で交流 企業と連携  
お茶の水女子大学
- 2015年4月12日 朝日新聞  
スマホデビュー、親の心得 トラブル急増、小学生も  
坂元章教授
- 2015年4月13日 日刊工業新聞  
社説「リケジョ」育成策 お茶女と奈良女の連携に期待  
お茶の水女子大学
- 2015年4月14日 読売新聞  
生活調へ隙 早いうちから準備が必要  
60歳以上の就労者増加  
野村浩子さん(卒業生、淑徳大学教授)
- 2015年4月16日 毎日新聞  
サイエンスカフェあす100回  
室伏さきみ子学長
- 2015年4月29日 読売新聞  
春の教職  
細矢治夫名誉教授
- 2015年5月10日 朝日新聞  
【書評】ドメスティック・バイオレンスと民間エンターテインメント 小川真理子(著)  
小川真理子専攻研究科リサーチフェロー
- 2015年5月11日 朝日新聞  
川上弘美「夜夜物語 上 中下」  
朝日新聞出版  
川上弘美さん(卒業生、作家)
- 2015年5月13日 朝日新聞  
【青春スクロール 母校群像記】宇都宮女子高：1 白百合の園、意欲的な研究者を輩出/栃木県  
今野美智子名誉教授
- 2015年5月15日 朝日新聞  
【学ぶ育む】MYキャンパス 快適な生活すべての人に お茶の水女子大 人間工学研究室 太田裕教授、室伏さきみ子学長
- 2015年5月17日 朝日新聞  
科学の扉 宇宙人飛行士10人目  
山崎直子さん(附属高校卒業生、宇宙飛行士)
- 2015年5月21日 読売新聞  
血液型ハラスメント 性格判断で不快な思い  
古川竹二教授
- 2015年5月22日 朝日新聞  
論文盗用の卒論、大学年報に掲載 愛知県立大 宮内眞久教授
- 2015年5月26日 朝日新聞  
50代から始める知的生活術  
内山滋比古名誉教授
- 2015年5月28日 日刊工業新聞  
【横顔】お茶の水女子大学学長に就任した室伏さきみ子氏  
室伏さきみ子学長
- 2015年6月3日 日刊工業新聞  
情報フランチ 研究女性53人決定  
安在絵美さん(大学院在生学生)
- 2015年6月6日 朝日新聞  
【みちのめがたり】シフトの思惟の径 群馬県高崎市連勝寺に住んだドイツ人  
田中辰明名誉教授
- 2015年6月11日 日本経済新聞  
日経 星新一賞  
お茶の水女子大学
- 2015年6月14日 産経新聞  
女子高生のクールビズ 船橋 モデルも務め「5年後の私」  
附属高校
- 2015年6月16日 朝日新聞  
ハッピーエンディングセミナー片付け大切な人のために  
辰巳浩さん(卒業生、「家事塾」主催)
- 2015年6月16日 日刊工業新聞  
【ピクチャー】女子高生のクールビズ  
附属高校
- 2015年6月16日 日本経済新聞  
クールビズに女子高生目録 西武館展でショー18日まで展示  
附属高校
- 2015年6月22日 朝日新聞  
共働き、子どもどう接する「時間少ない」悩むお茶女  
菅原ますみ教授
- 2015年6月22日 日本経済新聞  
丸の内キャリア塾  
お茶大女性ビジネスリーダー育成塾、徹音塾
- 2015年6月25日 東京新聞  
下の子育て取得「上の子退園は違法」  
下の室内保育増やせ  
大日向雅美さん(卒業生、恵泉女学園大学大学院教授)
- 2015年7月1日 産経新聞  
少子化対策に逆行 譲り合いを  
橋原洋一理事・副学長(総務担当)

- 2015年7月2日 朝日新聞  
学力調査、教員に「圧力」? 教育学者らが教員1044人に調査  
耳塚寛明教授
- 2015年7月7日 朝日新聞  
【教育2015 まなびナビ】国立奈良女子大「より良く変わろう」  
お茶の水女子大学
- 2015年7月8日 朝日新聞  
学力調査「使用中止を」大阪府の高校入試 文科省会議  
耳塚寛明教授
- 2015年7月8日 朝日新聞  
学力調査結果「使用中止を」専門家会議  
耳塚寛明教授
- 2015年7月8日 朝日新聞  
好成绩は「書く」に「振り返る」お茶の水女子大教授ら、学力調査分析  
耳塚寛明教授
- 2015年7月9日 朝日新聞  
かつちゃん動画 幼児わづかひ普通の6歳の日常再生2億回  
大日向雅美さん(卒業生、恵泉女学園大学大学院教授)
- 2015年7月9日 日本経済新聞  
日経 星新一賞  
お茶の水女子大学
- 2015年7月9日 読売新聞  
大学の実力  
お茶の水女子大学
- 2015年7月10日 毎日新聞  
オビエノ 論点 明治産業遺産登録の教訓  
歴史の光と影を見つける  
小風秀雅教授
- 2015年7月15日 産経新聞  
【大学ナビ】針路を聞く 創立140周年社会貢献強化へ新機構  
山崎直子さん  
女性の夢を実現する場舎と  
室伏さきみ子学長
- 2015年7月18日 東京新聞  
宙日和 世とほんぼり  
山崎直子さん(附属高校卒業生、宇宙飛行士)
- 2015年7月22日 読売新聞  
論点スペシャル  
国立代文系学部どうする 教員レベル低下心配  
藤原正彦名誉教授
- 2015年7月23日 日刊工業新聞  
NISTEPの博士人材データベース 進路  
進路情報傾向向上  
東大・京大など8校参加  
お茶の水女子大学
- 2015年7月25日 日本経済新聞  
理想の試験 悩む大学  
学びの場から(5)第4部 入試改革前夜  
教科の枠超え出題手探り  
お茶の水女子大学
- 2015年7月25日 日本経済新聞  
浜口みほ 家族に寄り添う、住空間を創造  
浜口みほさん  
(東京女子師範学校卒業生、女性初の一級建築士)
- 2015年7月28日 朝日新聞  
藤原正彦エッセイコンクール創設  
藤原正彦名誉教授
- 2015年7月29日 朝日新聞  
DV相談、10万件超す 昨年度  
戒能民江名誉教授
- 2015年8月3日 日本経済新聞  
子供の学力、所得・親の学歴に比例  
丁寧な指導で格差是正  
耳塚寛明教授
- 2015年8月7日 朝日新聞  
山崎直子さんらが講演「知と学びのサミット」  
山崎直子さん(附属高校卒業生、宇宙飛行士)
- 2015年8月9日 朝日新聞  
若手研究者対象の合同シンポ  
黒田裕子さん(卒業生、東京理科大学教授)
- 2015年8月10日 日本経済新聞  
【こころの玉手箱】1 専業主婦から開業、知事へ  
吉村美栄子さん(卒業生、山形県知事)
- 2015年8月11日 読売新聞  
疎開の絵日記 英語で発信  
東京女子高等師範学校附属国民学校  
お茶の水女子大学(附属小学校)
- 2015年8月11日 読売新聞  
宇宙開発で平和に貢献  
山崎直子さん(附属高校卒業生、宇宙飛行士)
- 2015年8月13日 日本経済新聞  
戦後70年これからの世界 外交力、和平  
仲介で示せ  
緒方真子名誉博士
- 2015年8月13日 日刊工業新聞  
技術系女性 製造業で役員登用の動き  
水元伸子さん(卒業生、HJ執行役員グループ業務統括室長)
- 2015年8月14日 日本経済新聞  
【こころの玉手箱】5 自然の色に染められ  
吉村美栄子さん(卒業生、山形県知事)
- 2015年8月14日 日刊工業新聞  
理系女性育成シンポ  
お茶の水女子大学
- 2015年8月19日 日本経済新聞  
【キャンパス発】の一品  
ハウムクレーン  
お茶の水女子大  
食のサークル、不二家と開発  
お茶の水女子大学、Ochas
- 2015年8月21日 産経新聞  
金成はるなさん(在生学生)
- 2015年8月21日 読売新聞  
教育リネサンス 夏休みの学び 4学期  
制で留学しやすく  
お茶の水女子大学、サマープログラム

- 2015年8月23日 朝日新聞  
【全国広告】集会告知 戦争法案廃案! 安倍政権退陣!  
戒能民江名誉教授、袖井孝子名誉教授
- 2015年8月27日 毎日新聞  
東京でリケジョシンポ  
お茶の水女子大学
- 2015年8月28日 朝日新聞  
お茶の水女子大学  
【学ぶ育む】新大入試見えぬイメージ  
思考力向上問題 先行実施の大学も  
お茶の水女子大学
- 2015年8月28日 朝日新聞  
時代を担う人材を育てる中高一貫校特集  
「生きる力」どう育てる  
佐々木和枝さん(卒業生、桜陰中学校・高等学校校長)
- 2015年8月30日 毎日新聞  
くらしナビ・ライフスタイル: 味覚教育で  
五感豊かそう  
豊久保美夏特任講師
- 2015年8月31日 中日新聞  
効果高い! 授業の「盛り上げ」学力テスト  
効果分析  
耳塚寛明教授、浜野隆教授
- 2015年9月4日 読売新聞  
【学ぶ育む】国立大学改革の概要「3類型」  
から将来像を  
お茶の水女子大学
- 2015年9月5日 東京新聞  
新道組 斎藤新一に史料 西南戦争従軍  
歴など国立文書館に思給関係文書  
東京女子高等師範学校  
斎藤新一(新撰組、元本学守衛・会計)
- 2015年9月11日 読売新聞  
新聞読む子 学力向上へ  
耳塚寛明教授
- 2015年9月11日 朝日新聞  
【加害者の自覚】教育で DV防止法15年: 下  
戒能民江名誉教授
- 2015年9月13日 朝日小学生新聞  
【朝小進歩情報】かわるわかる大学  
推薦・AO入試  
入試改革にらみ拡大の動き  
お茶の水女子大学でプレミナール  
高校生が「新型」を体験  
お茶の水女子大学
- 2015年9月15日 読売新聞  
課題解決力 大学時代に  
信頼される「表裏」話し方  
お茶の水女子大学  
女性リーダー育成プログラム
- 2015年9月16日 日刊工業新聞  
国立大「強み」最大限活す  
【3つの枠組み】選択改革本番  
【地域】「特色」【世界】86国立大学の「三つの枠組み」選択結果  
お茶の水女子大学
- 2015年9月22日 朝日新聞  
2016年度国立大学入試のポイント  
お茶の水女子大学
- 2015年9月26日 毎日新聞  
【くらしナビ・ライフスタイル】あいまいな  
「妊娠しやすさ」  
高橋さきの講師
- 2015年10月3日 朝日新聞  
【これでいいのだ!】世界の子育てで中国編  
1平方メートルあたり600万円!  
善善さん(お茶大アカデミックプラダクション研究員)
- 2015年10月7日 日刊工業新聞  
血中の生理活性物質 SAMSHO が特定  
育毛効果 発毛剤「ミノキシジル」の2.5倍  
室伏さきみ子学長
- 2015年10月10日 朝日新聞  
強盗罪「15年以上」に 男性被害者でも適用  
性犯罪罰則強化、刑法改正案を認  
戒能民江名誉教授
- 2015年10月15日 毎日新聞  
【くらしナビ ライフスタイル】広がる「予約型」大学奨学金  
耳塚寛明教授
- 2015年10月21日 読売新聞  
お茶の水女子大学、みかかざり奨学金  
国立大5割学部編成へ 人文社会系は26校  
お茶の水女子大学
- 2015年10月21日 読売新聞  
国立大多様化選抜へ、中期目標AOや  
「バカロシア」お茶の水女子大学、  
新フンボルト入試
- 2015年10月25日 区報ぶんきょう  
教育委員の就任  
羽入佐和子名誉教授(前学長)
- 2015年10月26日 朝日新聞  
オビエノ10(フォーラム)DVなくするために  
戒能民江名誉教授
- 2015年10月27日 朝日新聞  
主流に流った市井の人々 戦後の生き様  
描いた「ひとびとの精神史」  
天野正子名誉教授
- 2015年10月27日 朝日新聞  
子連れ出勤企業に広がる  
光畑由佳さん(卒業生、モーハウス代表)
- 2015年10月29日 読売新聞  
秋の園遊会招待者  
柴田みふさん(卒業生、漫画家・エッセイスト)
- 2015年11月2日 日刊工業新聞  
【12月23日】ハダク食品 佐藤みゆき  
さん 理想は「家族団らん」  
佐藤みゆきさん(卒業生、ハウス食品)
- 2015年11月2日 日本経済新聞  
女子大学生、家庭へ体験派遣 働く・育児  
「こうなん」  
須藤彩さん(在生学生)

- 2015年11月2日 日本経済新聞  
16年度入試 多用な人材獲得へ改革  
大、推薦導入/京大も推薦・AO  
お茶の水女子大学、新フンボルト入試
- 2015年11月3日 朝日新聞  
東大、求む「型破り系」 推薦入試、出願  
受け付け開始  
お茶の水女子大学、新フンボルト入試、  
安成英樹入試推進室長
- 2015年11月3日 読売新聞  
【生活調べ】地域の特色と二重踏ま  
袖井孝子名誉教授
- 2015年11月4日 日本経済新聞  
【学長アンケート】グローバル教育意欲  
「留学プログラム」「海外大連携」9割越  
G型・L型二分化にも異論  
室伏さきみ子学長、お茶の水女子大学  
21世紀型文理融合リベラルアーツ
- 2015年11月11日 日本経済新聞  
【学長アンケート】入試7割が改革姿勢  
室伏さきみ子学長
- 2015年11月12日 毎日新聞  
女子限定就活セミナー 資格差など企業  
担当者の本音も  
山本咲子さん(大学院在生学生)
- 2015年11月14日 朝日新聞  
痴漢・盗撮、4割が再犯 防止策の必要  
性指摘 犯罪白書  
戒能民江名誉教授
- 2015年11月16日 教育新聞  
新教科で公開授業 協働的課題解決力を  
育む お茶の水女子大附属中  
附属中学校
- 2015年11月16日 日刊工業新聞  
産業界とともに未来を築く 創刊100周年  
記念シンポジウム、感謝の集い  
山崎直子さん(附属高校卒業生、宇宙飛行士)
- 2015年11月19日 産経新聞  
日本人学生の「アジア体験」コンテスト入  
賞者決定  
山本実穂さん(在生学生)
- 2015年11月25日 朝日新聞  
大学対校ごみ拾い、社会貢献しよう  
来月13日、荒川川原で催し  
田村ひかりさん(在生学生)
- 2015年11月26日 毎日新聞  
宇宙飛行士毛利氏ら28日に特別講義  
お茶の水女子大 29日に創立140周年  
記念式典  
お茶の水女子大学
- 2015年11月26日 日刊工業新聞  
女学生先駆けに光 青山千世の遺品展示  
お茶の水女子大企画展  
歴史資料館  
青山千世さん(小学師範科第1回卒業生)、  
染井千佳さん(図書・情報課情報基盤係  
歴史資料館アカデミック・アシスタント)
- 2015年11月27日 日本経済新聞  
東大、2年ぶり1位 大学ブランド  
研究施設に評価  
お茶の水女子大学
- 2015年12月1日 朝日小学生新聞  
教育効果の高い学校とは? 文科省の全  
国学力調査を分析する  
浜野隆教授
- 2015年12月1日 産経新聞  
第31回正論大賞 正論大賞の歩み  
藤原正彦名誉教授
- 2015年12月4日 日刊工業新聞  
長期就業体験活用 理系院生の潜在力発掘  
山本世子 学長特命補佐
- 2015年12月5日 東京新聞  
あなたの、その不調ももしかしたら冷えが  
原因?  
木村容子さん(卒業生、東京女子医科大学准教授)
- 2015年12月9日 読売新聞  
【論点スペシャル】教職員 多いのか少ないのか  
耳塚寛明教授
- 2015年12月10日 大学新聞  
創立140周年記念式典・式典 毛利衛氏  
による特別記念講義  
お茶の水女子大学
- 2015年12月12日 産経新聞  
【全入時代】変わる大学!  
【大学トップに聞く!】先駆的な研究、教育の  
質的転換、そして「知」の拠点(COC)へ  
室伏さきみ子学長、お茶の水女子大学
- 2015年12月14日 日本経済新聞  
女性活躍の手法がほしい 他社社員と対話の場  
山谷貴名さん(元ジェンダー研究センター  
オビエノ10(フォーラム)DVなくするために  
特任AF)
- 2015年12月15日 朝日新聞  
旅の魅力、私の言葉で 姫路文学館エッ  
セイコン、中学期別最優秀賞  
藤原正彦名誉教授
- 2015年12月15日 日本経済新聞  
【旬の人物】廣瀬史子さん 2年半か  
け軌道計算、金星へ「あかつき」導く  
廣瀬史子さん(卒業生、JAXA宇宙航空研究開発機構)
- 2015年12月21日 日本経済新聞  
生活習慣病予防は学生時代から  
本田善一郎教授(保健管理センター所長)
- 2015年12月23日 読売新聞  
大学入学希望者学力評価テスト(仮称)記  
述式の問題例  
課題解決の学習後押し  
耳塚寛明教授

- 2015年12月25日 日刊工業新聞  
宇宙ごみ観測応援  
山崎直子さん(附属高校卒業生、宇宙飛行士)
- 2015年12月26日 日本経済新聞  
ビジネスパーソンの大学イメージ調査  
自分に合った大学探しに生かす  
お茶の水女子大学
- 2015年12月29日 毎日新聞  
中根の目 データが語る 科研費の女性  
研究者採択比率が高い大学  
お茶の水女子大学
- 2016年1月5日 日刊工業新聞  
宇宙にも住める  
山崎直子さん(附属高校卒業生)
- 2016年1月6日 朝日新聞  
【選べない国で】教育は希望  
内田伸子名誉教授
- 2016年1月9日 読売新聞  
【学ぶ育む】教育リネサンス 社会人の学  
びなおし3リーダー目指す女性支援  
徹音塾
- 2016年1月12日 朝日新聞  
【人口減にっけん】ミャンマー人、争奪  
戦 実習生、1年半で10倍超  
宮島高名誉教授
- 2016年1月13日 毎日新聞  
ヒューマンライフ研究 文理融合型、拠  
点新設  
お茶の水女子大
- 2016年1月16日 朝日新聞  
【教育2016】学力格差、背景に経済力差  
お茶の水女子大教授講演  
耳塚寛明教授
- 2016年1月16日 東京新聞  
【Campusインフォメーション】お茶の水  
女子大附属幼稚園創立百四十周年記念特  
別展—附属幼稚園と幼児教育の百四十一年  
附属幼稚園
- 2016年1月18日 朝日新聞  
【南北600キロ】お茶大のお茶、鹿兒島の  
茶で 学生の商品開発、「下室園」協力  
Ochas  
佐野七海さん(在生学生)  
小久美穂乃さん(在生学生)  
久保田紀久枝名誉教授
- 2016年1月21日 朝日新聞  
読書マフリン、コメント大賞決まる  
横尾えりさん(大学院在生学生)
- 2016年1月22日 日本経済新聞  
経済教室「育児短時間」、出生率に効果  
永瀬伸子教授
- 2016年1月24日 日本経済新聞  
【かれんとスノーブ】なぐせ放課後の学び  
格差 無料塾・助成制度広がる  
浜野隆教授
- 2016年1月29日 朝日新聞  
「いい大学出れば幸せ」小学生78%  
ベネッセ調査、9年前より増  
耳塚寛明教授
- 2016年2月12日 朝日新聞  
【大卒伸のまちタネ】造船の街今昔:  
175「子どもたち」に本物を  
東京女子師範学校、附属幼稚園
- 2016年2月12日 朝日新聞  
女性の自立どう支える  
戒能民江名誉教授
- 2016年2月22日 朝日新聞  
学校外の勉強時間、高校生も増 ベネッ  
セ研究所調査・高2で84分!  
耳塚寛明教授
- 2016年2月20日 東京新聞  
昨年文科省が「育英要諦」式典の春国歌  
NO 国立大続々表明  
お茶の水女子大学
- 2016年2月29日 朝日新聞  
新時代切り開くカは? 朝日みらい教育  
フォーラム2016  
新大入試 期待と課題と  
お茶の水女子大学、新フンボルト入試
- 2016年3月5日 朝日新聞  
【再読 こんな時、こんな本】北の国から  
ジュンク堂池袋本店・鎌田弘弘さんに聞く  
安部ヨリミさん  
(東京女子高等師範学校中退、作家)

### TV

- 2015年4月20日 NHK BS1  
「キャッチ」世界の視点  
マタハラ被害をなくするために  
永瀬伸子教授
- 2015年6月13日 NHK総合  
【NHK首都圏ニュース】  
COOLBIZ NEXTファッションショー 女  
子高生が発信、女性のクールビズ  
附属高校
- 2015年6月13日 NHK総合  
ニュース・気象情報  
COOLBIZ NEXTファッションショー  
附属高校
- 2015年6月27日 日本テレビ  
【土曜特番 追跡! つばやきウォッチャー】  
溝井真久子さん(卒業生)
- 2015年7月8日 フジテレビ  
【めざましテレビ】  
2013年度全国学力調査分析結果  
お茶の水女子大学

# 研究表彰等受賞者一覧 2015年度(抜粋)

- **2015年7月8日** フジテレビ  
「めざましテレビ アーク」  
2013年度全国学力調査分析結果  
お茶の水女子大学
- **2015年7月14日** 日本テレビ  
「スッキリ!!」  
満井善久子さん(卒業生)
- **2015年7月29日** SBS  
「4時です! Nスタ」  
「日刊3コマニュース」 校歌について  
お茶の水女子大学
- **2015年8月13日** NHK総合  
「NHKニュース おはよう日本」  
戦後70年 あすへ、語り継ぐ  
お茶の水女子大学
- **2015年8月15日** SBS  
「王様のブランチ」  
物件情報コーナー「サンキュー HOW MATCH!」  
元岡風久准教授
- **2015年8月16日** 日本テレビ  
「所さんの目がテン!」  
サイエンス&エデュケーションセンター  
露久保美夏特任講師
- **2015年8月23日** NHK Eテレ  
「第28回全日本高校・大学ダンスフェスティバル」  
文教育学部芸術・表現行動学科  
舞踊教育学コース
- **15年10月28日** SBS  
「白熱ライブ ビビット」  
わがままいばないで!は通用しない!  
パソコン、スマホを使いこなすシニアたち  
を取材  
満井善久子さん(卒業生)
- **2015年11月26日** テレビ東京  
「ワールドビジネスサテライト」  
トレンドたまご「遠隔 猫じゃらし!」  
椎尾研究室、学部教育研究協力員  
の場やすしさん
- **2015年12月7日** NHK総合  
「NHK ニュースウォッチ9」  
「あかつき」奇跡の再挑戦  
廣瀬史子さん  
(卒業生、JAXA宇宙航空研究開発機構)
- **2015年12月22日・24日・25日・  
2016年1月6日** NHK総合  
「ひるまほっと」  
お知らせ「NHKキャンパス・ミーティング」  
@お茶の水女子大学  
お茶の水女子大学
- **2015年1月16日** NHK総合  
「先どり きょうの健康」  
子どもの発達障害 徹底解説  
柳原洋一理事、副学長(総務担当)
- **2016年1月30日** NHK総合  
「NHK NEWS WEB」  
小学生が学校以外で勉強する時間 過去最長に  
耳塚寛明教授

## (1) 教職員

- **平成27年度 春の叙勲**  
瑞宝章  
細矢治夫名誉教授
- **日本デジタルゲーム学会**  
2014年度日本デジタルゲーム学会賞  
基幹研究院人間科学系 坂元章教授
- **12th Asian Congress of Nutrition**  
(第12回アジア栄養会議)  
Young Investigator Award  
寄附研究部門「食と健康」  
(お茶大アカデミック・プロダクション)  
岸本良美寄附研究部門准教授
- **第69回日本栄養・食糧学会大会(第12回アジア栄養会議との合同開催)**  
奨励賞  
基幹研究院自然科学系 市育代講師
- **公益社団法人新化学技術推進協会**  
第4回新化学技術研究奨励賞  
基幹研究院自然科学系 古田悦子講師
- **総務省**  
平成27年度戦略的情報通信研究開発  
推進事業(SCOPE)  
先進的通信アプリケーション開発推進  
型研究開発 フェーズII採択  
基幹研究院自然科学系 小口正人教授
- **日本油化学会**  
10th J. Oleo Sci. Impact Award  
(日本油化学会インパクト賞)  
(お茶大アカデミック・プロダクション)  
才田恵美寄附研究部門講師  
共著者:岸本良美寄附研究部門准教授、  
近藤和雄名誉教授 他
- **科学技術振興機構(JST)**  
平成27年度 戦略的創造研究推進事業  
(さきがけ)採択  
基幹研究院自然科学系 三宅亮介助教
- **科学技術振興機構(JST)**  
平成27年度 戦略的創造研究推進事業  
(CREST)採択  
基幹研究院自然科学系 小口正人教授
- **日本子ども学会**  
第12回子ども学会議 優秀発表賞  
生活科学部 村松志野研究員(産学連携)
- **日本女子大学** 第11回平塚らいてう賞  
奨励賞  
基幹研究院リサーチフェロー  
小川真理子さん
- **日本第四紀学会2015年大会**  
2015年度「日本第四紀学会」学会賞  
基幹研究院自然科学系 松浦秀治教授
- **公益社団法人程ヶ谷基金**  
平成27年度男女共同参画・少子化関連  
研究活動の支援に関する顕彰事業  
「論文部門」優秀賞  
生活科学部人間生活学系 生活社会科  
学講座 山本千晶非常勤講師
- **第18回がんばれ先生!** 東京新聞教育賞  
附属小学校 岩坂尚史教諭
- **映像表現・芸術科学フォーラム**  
2015ポスター発表最優秀賞  
大学院人間文化創成科学研究科博士前  
期課程理学専攻情報科学コース1年  
小松璃子さん
- **情報処理学会第77回全国大会**  
学生奨励賞  
大学院人間文化創成科学研究科博士前  
期課程理学専攻情報科学コース  
2年:飯村奈穂さん、久保田真季さん、  
菅原衣織さん、長谷川彩子さん、  
藤井聡佳さん  
1年:五味恵理華さん
- **情報処理学会第78回全国大会**  
学生奨励賞  
理学部情報科学科4年  
上原美咲さん、恒川英里さん、  
丸千尋さん、宮城優里さん、  
山口正恵さん、Luis Cardonaさん  
(東工大・お茶大への指導委託)
- **理化学研究所**  
研究奨励賞  
大学院人間文化創成科学研究科博士後  
期課程ライフサイエンス専攻生命科学  
領域3年 島本知英さん
- **ナノ学会第13回大会**  
若手優秀ポスター発表賞  
大学院人間文化創成科学研究科博士後  
期課程理学専攻  
化学・生物化学領域3年(日本学術振  
興会特別研究員 DC1)  
松田彩さん(指導教員:森寛敏准教授)
- **情報処理学会第77回全国大会**  
大会奨励賞  
大学院人間文化創成科学研究科博士前  
期課程理学専攻情報科学コース1年  
宮城優里さん
- **46th Annual Meeting of the Society for  
Psychology Research**  
Lester Luborsky Student Poster Award third place  
大学院人間文化創成科学研究科人間発  
達科学専攻博士後期課程3年  
中村香理さん
- **立石化学技術振興財団**  
2015年度研究助成  
大学院人間文化創成科学研究科博士後  
期課程ライフサイエンス専攻2年  
安在絵美さん
- **第26期可視化情報学会**  
学会賞(技術賞)  
大学院人間文化創成科学研究科博士後  
期課程理学専攻情報科学領域2年  
高藤優理さん
- **第28回全日本高校・大学ダンスフェス  
ティバル(神戸)**  
創作コンクール部門(大学の部)  
神戸市長賞(新境地を切り開く独創的  
な発想の探求に対して)  
文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教  
育学コース
- **国際会議 VINCI2015**  
Best Poster Award  
大学院人間文化創成科学研究科博士後  
期課程理学専攻情報科学領域3年  
八木佐也香さん
- **日本農芸化学会2015年度関東支部大会**  
若手優秀発表賞  
大学院文化創成科学研究科博士後期課  
程2年 有澤琴子さん  
(指導教員:市育代講師、藤原葉子教授)

## (2) 学生

- **一般社団法人情報処理学会**  
情報処理学会論文誌ジャーナル/JIP特選  
論文(英文名称: Specially Selected Paper)  
大学院人間文化創成科学研究科博士後  
期課程理学専攻情報科学領域2年  
村村亜珠さん

## (3) 本学出身者

- **日本農芸化学会**  
2014年 B.B.B. 論文賞  
・大学院人間文化創成科学研究科博士  
後期課程ライフサイエンス専攻生命  
科学領域修了 吉澤江里子さん  
・理学部生物学科卒業 貝塚麻衣さん  
・大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程ラ  
イフサイエンス専攻生命科学領域修了  
山上あゆみさん
- **日本道徳教育学会**  
日本道徳教育学会賞  
大学院人間文化創成科学研究科比較社  
会文化学専攻国際日本学領域修了  
人間文化創成科学研究科博士(人文科  
学)学位論文・平成27年3月23日授与  
小林加代子さん
- **International Conference on Information  
Visualisation (国際会議IV2015)**  
The Best Paper Award  
大学院人間文化創成科学研究科博士前  
期課程理学専攻情報科学コース修了  
中澤里奈さん
- **筑波書局・三鷹市共同主催**  
第31回太学治賞  
受賞作品:「変わらざる喜び」  
文教育学部人文科学科哲学・倫理学・  
美術史コース卒業  
水野彩絵さん(ペンネーム:伊藤朱里さん)
- **公益社団法人程ヶ谷基金**  
平成27年度男女共同参画・少子化関  
連研究活動の支援に関する顕彰事業  
「論文部門」優秀賞  
大学院人間文化創成科学研究科人間発  
達科学専攻博士學位取得(2014年9月)  
元基幹研究院リサーチフェロー、首都大  
学東京助教 安藤藍さん
- **日本学術振興会**  
第12回(平成27年度)日本学術振興会賞  
日本女子大学学術奨励賞  
文教育学部史学系助教  
東京国立博物館学芸研究部工芸室長  
小山弓弥さん
- **(4) その他**
- **図書館総合展運営委員会**  
第17回図書館総合展  
図書館キヤクターグランプリ  
「現九目で勝負」部門グランプリ  
附属図書館図書館学生アシスタントLISA  
(Library Student Assistant)  
イメージキャラクター しほりちゃん
- **一般財団法人共立国際交流奨学財団**  
第16回「日本人学生の「アジア体験」  
コンテスト」入賞  
文教育学部人文科学科1年 山本実穂さん
- **日本高圧力学会**  
第56回高圧討論会 ポスター賞  
大学院人間文化創成科学研究科博士前  
期課程理学専攻物理科学コース2年  
山村実保さん
- **第14回社会言語科学学会研究大会(第36回大会)**  
発表賞  
大学院人間文化創成科学研究科博士後  
期課程比較社会文化学専攻国際日本学  
領域1年 河野礼美さん
- **日本ソフトウェア科学会**  
第23回インタラクティブシステムと  
ソフトウェアに関するワークショップ  
(WISS 2015)  
対話発表賞  
大学院人間文化創成科学研究科博士前  
期課程理学専攻情報科学コース2年  
安宮クレアさん
- **国際会議 ACE 2015 (Advances in  
Computer Entertainment Technology 2015)**  
Silver Creative Showcase Award  
大学院人間文化創成科学研究科博士前  
期課程理学専攻情報科学コース2年  
橋本菜摘さん
- **第13回日本機能性食品学会総会**  
Oral Presentation Award  
大学院人間文化創成科学研究科博士前  
期課程ライフサイエンス専攻食品栄養  
科学コース2年 鈴木恵子教授  
(指導教員: 鈴木恵子教授)
- **第15回毎日パソコン入カコンクール**  
総務大臣賞  
附属高校3年 岡野友美さん
- **読書マラソン・全国コメント大賞**  
銅賞  
大学院人間文化創成科学研究科博士前  
期課程比較社会文化学専攻  
英語圏・仏語圏言語文化コース1年  
横尾ちえさん
- **国際電気通信連合**  
ITU Kaleidoscope Conference 2015  
Young Author Recognition  
大学院人間文化創成科学研究科博士前  
期課程理学専攻情報科学コース1年  
丸千尋さん
- **第27回ビタミンE研究会**  
奨励賞(ポスター部門)  
大学院人間文化創成科学研究科博士前  
期課程ライフサイエンス専攻食品栄養  
科学コース1年 池上寛子さん
- **学校インターネット教育推進協会(JAPIAS)**  
第18回全国中学校Webコンテスト  
経済産業大臣賞  
高校生の部・プラチナ賞  
附属高等学校「ぶくのはなし」
- **学校インターネット教育推進協会(JAPIAS)**  
第18回全国中学校Webコンテスト  
高校生の部・金賞  
附属高等学校「GIAS of the Earth」
- **学校インターネット教育推進協会(JAPIAS)**  
第18回全国中学校Webコンテスト  
高校生の部・銀賞  
附属高等学校「バームにズーム!!」

# 主要行事予定 2016年度

- |                             |                                |                              |
|-----------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 4月 1日 TOEFL ITP全学テスト(～2日)   | 9月 9日 博士後期課程9月入試合格発表           | 12月 8日 推薦入試等2次試験合格発表         |
| 4月 4日 入学式                   | 9月 24日 新フンボルト入試プレセミナー(～25日)    | 生活工学共同専攻入試合格発表(奈良会場)         |
| 4月 5日 入学生オリエンテーション(～7日)     | 9月 30日 9月卒業式                   | 12月 10日 生活工学共同専攻入試(東京会場)     |
| 4月 8日 1学期・前期授業開始            | 夏期休業終了                         | 12月 15日 生活工学共同専攻入試合格発表(東京会場) |
| 4月 16日 大学院オープンキャンパス         | 10月 1日 文教育学部・生活科学部編入学1次試験      | 12月 23日 通常授業開講               |
| 5月 11日 名誉教授懇談会              | 3学期・後学期授業開始                    | 12月 28日 冬期休業開始               |
| 5月 28日 ホームカミングデイ            | 10月 3日 10月入学式                  |                              |
| 5月 31日 開学記念日                | 10月 10日 通常授業開講                 |                              |
| 6月 11日 2学期授業開始              | 10月 13日 文教育学部・生活科学部編入学1次試験合格発表 |                              |
| 6月 11日 高校教員向けオープンキャンパス      | 10月 15日 新フンボルト入試試験日(～16日)      |                              |
| 6月 29日 理学部・生活科学部(人間・環境科学科)  | 10月 26日 文教育学部・生活科学部編入学2次試験     |                              |
| 編入学試験(～30日)                 | 11月 3日 通常授業開講                  |                              |
| 7月 7日 理学部・生活科学部(人間・環境科学科)   | 11月 10日 文教育学部・生活科学部編入学2次試験合格発表 |                              |
| 編入学試験合格発表                   | 11月 11日 德音祭準備(休講)              |                              |
| 7月 16日 学部オープンキャンパス(～18日)    | 11月 12日 德音祭(～13日)              |                              |
| 8月 9日 夏期休業開始                | 11月 16日 推薦入試等1次合格発表            |                              |
| 8月 12日 夏季一斉休業(～16日)         | 11月 22日 奨学金授与式                 |                              |
| 8月 18日 博士前期課程8月入試(～19日)     | 永年勤続表彰式                        |                              |
| 8月 20日 生活工学共同専攻入試(東京会場)     | 11月 23日 通常授業開講                 |                              |
| 8月 25日 生活工学共同専攻入試合格発表(東京会場) | 11月 26日 推薦入試等2次試験日(～27日)       |                              |
| 8月 26日 博士前期課程8月入試合格発表       | 附属幼稚園創立140周年行事                 |                              |
| 8月 27日 生活工学共同専攻入試(奈良会場)     | 11月 29日 創立記念日                  |                              |
| 9月 1日 博士後期課程9月入試            | 4学期授業開始                        |                              |
| 9月 2日 生活工学共同専攻入試合格発表(奈良会場)  | 12月 3日 生活工学共同専攻入試(奈良会場)        |                              |

# 研究表彰等受賞者一覧 / イベントカレンダー



お茶の水女子大学学报 第 248 号

▽発行日 : 2016 年 4 月 4 日

▽発 行 : 国立大学法人お茶の水女子大学

東京都文京区大塚 2-1-1 (〒112-8610)

ご意見・ご感想はこちらまで

企画戦略課広報企画担当

電話 03-5978-5105

FAX 03-5978-5545

E-mail: info@cc.ocha.ac.jp

URL : http://www.ocha.ac.jp/

本誌、お茶の水女子大学学报「GAZETTE」は、  
本学ホームページにも掲載していますので、どうぞご覧ください。